

保土ヶ谷の今昔を歩く

実施日：2022年10月15日

コース：星川駅（WC）→相鉄線連続立体交差→帷子川プロムナード・川辺公園→横浜ビジネスパーク（WC）→神明社→大蓮寺→金沢横丁道標→本陣跡→旅籠本金子屋→大仙寺→宿場そば桑名屋 →保土ヶ谷駅（WC）

	場所	由来・史跡
1	相鉄線連続立体交差	平成14年（2002）の事業開始から19年の時を経て、令和4年3月（2022）に事業が完了。実施区間は星川駅～天王町駅（約1.9キロ）、踏切除去数 9箇所、総事業費は連続立体交差事業が約630億円で、関連道路事業は約62億円。
2	帷子川プロムナード・川辺公園	平成7年度（1995）横浜まちなみ景観賞。帷子川護岸（神奈川県）、川辺公園・市営住宅（横浜市）、東電社宅（東京電力）を帷子川沿いの10m幅のプロムナードとして横浜市都市デザイン室の調整により一体的に整備。
3	横浜ビジネスパーク	3つのタワー棟、そしてベリーニの丘を取り囲むように配置された低層棟からなる。日本硝子横浜工場の跡地に野村不動産（株）が建築。イーストタワーは地上15階、ウエストタワーは地上12階、サウスタワーは地上21階でいずれも平成2年（1990）竣工。
4	神明社	創建は平安時代中期（970年）。祭神は天照大神。伊勢神宮の御領地として寄進され、榛谷御厨（はながやのみくりや）と呼ばれました。榛谷（はながや）から「ほどがや」の地名も生まれたといわれています。
5	大蓮寺	開山は江戸時代初期（1625年）。日蓮宗。日蓮上人が泊まった家を法華堂に改修したのが寺の始まりとのこと。家康の側室おまんの方お手植えのざくろの木がある。
6	金沢横丁道標	金沢や鎌倉への分岐点。道案内の石碑が4基並んでいる。その中に「程ヶ谷の枝道曲がれ梅の花」と杉田梅林への道を示す俳句を詠んだ碑がある。
7	本陣跡	本陣・名主・問屋の三役は、江戸時代を通して代々荻部家がつとめた。当時を偲ばせる門や土蔵が残っている。明治3年（1870）に軽部に改姓し現在も居住している。
8	旅籠本金子屋	明治2年（1869）建築の建物は、旅籠の面影を残しています。日本庭園（非公開）があり、大正天皇がお忍びで旅をされたときに休まれたといわれている石などがあります。
9	大仙寺	開山は平安時代中期（969年）といわれ区内で最も古い寺の一つ。高野山真言宗。本陣をつとめた軽部家の菩提寺であり、旧東海道からは山門をくぐり参道が続いていた。
10	宿場そば桑名屋	「まちかど博物館」館長の近藤博昭さんは、長い間、保土ヶ谷の「歴史を活かしたまちづくり」に携わってきました。店は、深川江戸資料館の船宿を手がけた大工職人に依頼して、江戸時代の建物を再現したもの。浮世絵や保土ヶ谷宿の立体模型など展示。

* コースは道幅や歩道が狭いので、横に広がらないようにご協力をお願いします。

〈次回案内〉 観音寺と阿久和川周辺を歩く（約6km）

日時：2022年11月19日（土）相鉄線 弥生台駅改札出口 集合 9時～15分受付

スタッフ 募 集 中！

問い合わせ先：せや・ガイドの会 竹見（☎090-3900-6469）まで

ホームページ「せや・ガイドの会」で [検索]



せやガイドの会
ホームページ
QRコード